

わくわく だより

鮮やかな紅葉に、秋の深まりを感じる今日この頃。

昭和41年10月1日に5市4町5村が合併し、来年50周年をむかえるいわき市ですが、10月に「第1回いわき学検定」が行われました。平成の大合併が行われるまでは、日本一面積が広い市で、またひらがなの市町村名が自慢でした。この広いいわき市で、地域ごとの歴史や文化、自然などの知識を問われる問題が100問出題されました。その後、優秀な成績の方が二次試験に進み、12月には合格者へ「いわき学博士号」が授与されるとのことです。

今回受験したわけではありませんが、いわきは、奥が深いなと思いました。(売買：大和田)



【2015年ヒット商品ランキング】

月刊情報誌「日経トレンディ」が「2015年ヒット商品ベスト30」を発表しました。毎年恒例のこの企画では、集計期間中（2014年10月～2015年9月まで）に発表された商品やサービスを「売れ行き」「新規性」「影響力」の3項目で総合的に判定。ランキングの「ベスト10」は以下の通りです。

順位	商品・サービス名	順位	商品・サービス名
1位	北陸新幹線	6位	ガウチョパンツ
2位	「火花」又吉直樹著	7位	チョイ呑み
3位	インバウンド消費	8位	明治プロビオヨーグルトPA-3
4位	コンビニーナツ	9位	南アルプスの天然水&ヨーグリーナ
5位	ココナツオイル	10位	アップルウォッチ

ひとくちメモ



『民泊ビジネス』

最近、注目を集めている『民泊』とは、一般の住宅を有料で宿泊施設として活用するというものです。元々は米国で始まった宿泊形態ですが、2014年頃から、日本でも法人が発足し普及しているようです。

本来であれば、宿泊料を取って営業することは旅館業法上の営業許可が必要となるのですが、民泊サービスは新たなビジネス形態であることから政府も規制緩和を検討しています。民泊については、政府が東京など大都市圏の規制を緩和する特区に指定し、東京都大田区は条例案を議会に提出する方針を打ち出している等、取り組みがなされています。

既に、今年10月には大阪府では民泊を認める条例案が大阪府議会で可決されました。一方、各地で民泊解禁に向けた動きが起きている中で、京都で民泊を行っていた旅行代理店関係者の事情聴取が行われる等、民泊ビジネスに捜査のメスが入ったりもしています。

民泊は空家活用の一環としても考えられることから、今後民泊に関しては関係省庁が連携しながら法整備がされていくものと思われます。

民泊の拡大により地域住民とのトラブル増も予想されますが、民泊規制緩和により経済効果は大きいと予想されていますので、今後の動きが気になるところです。



新スタッフ紹介



11月から売買部門に配属となりました伊藤と申します。不動産取引は信頼が大切です。

ひとりでも多くのお客様から信頼が得られるよう日々業務に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

伊藤 孝信

皆様の夢の実現のために一生懸命頑張ります。

【無料進呈中】

知らないで損をする！

『誰も教えてくれない不動産の賢い購入法』

～不動産取引って、分からない事が多すぎませんか？～

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引のいろいろな事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。

引っ越し 住宅ローン 税金 自己資金 資金計画

この小冊子をご希望の方は小島北店までご連絡下さい。ニャンとなく お家探しはサービス1番の当社へ

TEL 0246 (27) 0331